

実施場所・機関

- お住まいの地域の
保健センター、児童館、
保育所(園)、幼稚園、
小・中学校、総合支援学校 等
- さらに
こどもみらい館、
生涯学習部



でも実施しています。

実施の有無及び日時・場所は、それぞれの機関または、下記のこどもみらい館(妊娠期・乳幼児期)、生涯学習部(学童期・思春期)にお問い合わせください。

CHECK! 「子育て応援パンフレット」をご活用ください

子育て支援に関する施設や事業・制度や相談先を盛り込んでいるパンフレット。

第1章・第2章では、妊娠・出産から義務教育期まで、子どもの成長過程に沿った施策等を紹介。第3章以降は目的別に情報を掲載し、知りたい情報を簡単に知ることができるようにしています。

区役所・支所別に作成した「子育て応援マップ」と併せて使用することで、お住まいの地域の中で、どのような子育て支援の場があるかが分かるようになっています。

詳細は 京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課
TEL 075-251-2380



子どもを共に育む京都市民憲章 <行動理念>

わたしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆(きずな)を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

(平成19年2月5日制定、3月13日憲章推進の市会決議)

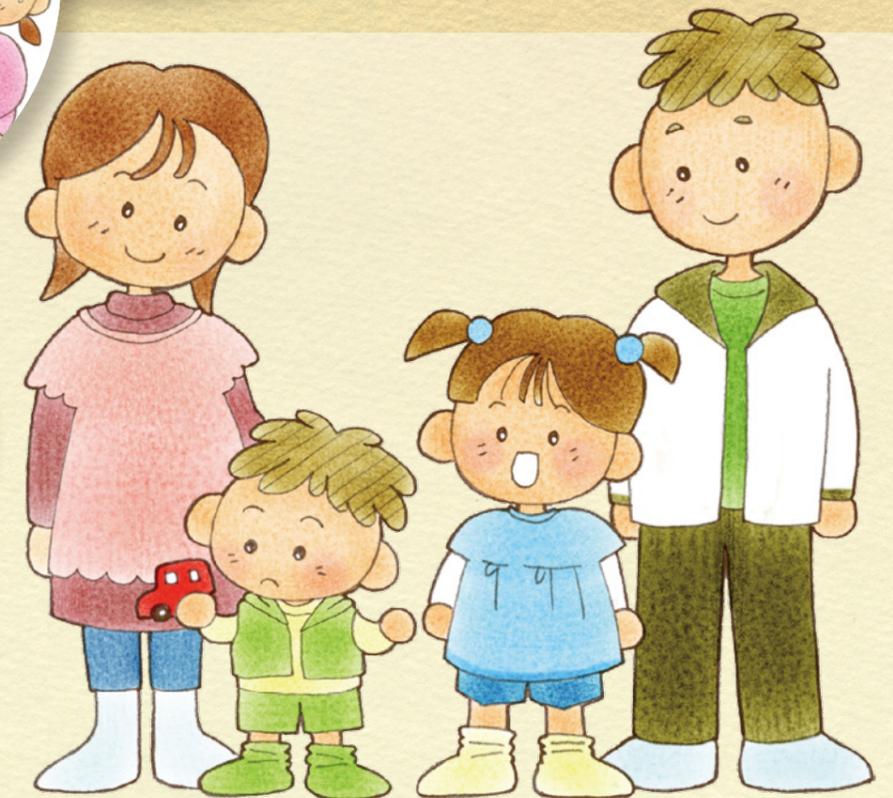
発行：京都市教育委員会 生涯学習部
家庭地域教育支援担当
〒604-8064 京都市中京区
富小路通六角下る骨屋之町 549
TEL 075-251-0456
FAX 075-222-2061

京都市子育て支援総合センター
こどもみらい館
〒604-0883 京都市中京区
間之町通竹屋町下る楠町 601-1
TEL 075-254-5001
FAX 075-212-9909

子育てのこと みんなで 話し合いませんか?

子どもを共に育む『親支援』プログラム

ほっこり子育てひろば



「子どもを共に育む『親支援』プログラム」プロジェクト会議・京都市・京都市教育委員会

「ほっこり子育てひろば」は1人でも参加できます まずはちょっとのぞいてみませんか？

- ▶ テーマに沿って楽しく語り合うワークショップ形式のプログラムです。
- ▶ このプログラムには決まった答えはありません。
- ▶ 不安や孤立感を減らし、喜びを感じながら子育てできることを目指します。



話して、聴いて、気づいて…、少しでも楽になれば…

プログラムの進行例

- 60～90分程度
- 参加者の話し合いが中心で、専門職や養成された支援者が進行します。
- 10～20名程度
- ※プログラムにより、実習等を行うものもあります。

であい

楽しく遊びながら、気軽に話せる雰囲気。



プライバシーは守られるので、安心して悩みを話せる

ふれあい

グループに分かれて意見交換。

- ▶ 思ったことを話してみよう
- ▶ 話を聞くだけでも大丈夫



みんなの話がじっくり聴ける
みんなが話をゆっくり聴いてくれる

きづきあい

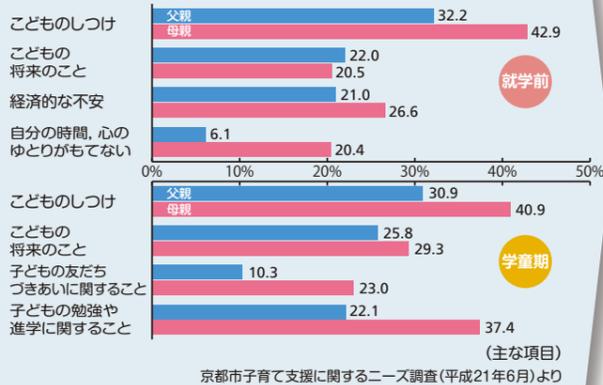
他のグループの意見を聴いて。

- ▶ いろんな考えに触れてみよう
- ▶ 新しい友だちもできるかも



うちの子は好き嫌いが多くて、このままでいいのかな

子育てで、日頃悩んでいることは？



最近、何を考えているのか分らない…



■ テーマ一覧

お子様の発育・発達に応じた「テーマ」を用意しています

	妊娠期	0歳児	1～2歳児	3～5歳児	小学校就学前	小学校低・中学年	小学校高学年	中学生
赤ちゃんのいる生活イメージトレーニング	←→	赤ちゃんってこんなに泣くの?!						
離乳食		←→	いつから始める? 離乳食					
親子でいっしょにあそぼう	←→		遊んで育む親子のきずな 一緒にあそぼう					
自我のめばえと生活習慣		←→	自己チューは育ちのあかし					
子どものかかわり方			←→	うちの子だけが悪いの?				
いつくしむ	←→		子ども私もかけがえのない存在					
受けとめる			←→	どう受けとめる? 子どもの気持ち				
認める			←→	子どものありのままを認めたい!				
つながる	←→		地域のつながりって大切な?					
歩む			←→	楽しみ? 不安? 小学校生活				
身につける				←→	毎日の生活リズムを振り返って			
見守る				←→	気になる 思春期の人間関係			
ふれあう				←→	本当はいっぱい話したい 思春期の対応			
はばたく				←→	応援したい! 子どもの夢や希望			

不安が減った 妊産期

- * 赤ちゃんが生まれてからの生活が不安でしたが、話が聴けて、不安が減りました。
- * 出産後のイメージがつかめました。妻共々、ゆとりを持って準備できそうです。

悩みを共有し安心できた 乳幼児期

- * 同じテーマで話し合えたので、悩みが共有でき、みんな一緒なんだと安心しました。
- * 離乳食のテーマでは、実物が見られ、大きさ、柔らかさが実感でき、作り方もよくわかりました。

体験者の声をちょっと紹介

もっと子どもが好きになった 学童期

- * 子どもの「いいところ」を考えることで、その良さがみえて、自分の子どもがもっと好きになりました。
- * これだけの方々の思いや経験を聴けるのは貴重でした。おかげで自分の新しい面も知れました。

前向きな気持ちになれた 思春期

- * それぞれの家庭の様子を話して聴くだけで、前向きな気持ちになりました。
- * はじめはドキドキしたけど、話し始めると楽しく話せました。少し気持ちも変わったかな。